

&lt; 個別案件確認表（東京都） &gt;

東京都担当確認年月日 2019年 12月 12日  
 東京都作業部会確認年月日 2019年 12月 17日  
 (契約変更に伴う再確認年月日 2020年 8月 7日)  
 (契約変更に伴う再確認年月日 2021年 1月 22日)

事業名 通信インフラ（大会関係者向け LAN 設備）

案件名 NEC との NETWORK EQUIPMENT SUPPLY AGREEMENT (NESA) に基づく第 11 回目の発注について

確認の視点	東京都の見解	備考
経費の負担が平成 29 年 5 月 31 日の合意の考え方に基づくものであること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大枠の合意に基づく、テクノロジーのインフラ（大会関係者向け LAN 設備）に係るものである。</li> <li>・経費分担については、大枠の合意に基づき計上された予算の範囲内となっている。</li> <li>・発注予定金額は、通信インフラ（大会関係者向け LAN 設備）の V3 予算内であることを確認した。 (2020 年 8 月 6 日 契約変更に伴う追記)</li> <li>・なお、延期に伴う追加経費の取扱いは、現時点で未定である。 (2021 年 1 月 20 日 契約変更に伴う追記)</li> <li>・延期に伴う追加経費のうち、コロナ対策以外の経費については、大枠の合意に基づくこととされ、これに基づいたものとなっている。</li> </ul>	

<p>事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織委員会は、大会においてテクノロジーのインフラの整備を実施する役割を担っており、IOC、パートナー及び各 FA など、多くの関係者と調整し、準備を進めてきた。</li> <li>・大会用データネットワーク及び警備用ネットワークに接続するために必要となる機器の調達については、ネットワーク機器のカテゴリパートナーである NEC との包括的な契約（以下「NESA」という。）の内容を 2019 年 2 月 13 日の作業部会においてすでに確認した。</li> <li>・本案件は、NESA に基づき、以下の業務を発注するものである。 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 実施設計に基づき、会場等で使用が確定したネットワーク機器の調達</li> <li>② これまでに調達してきた機器及び本案件で調達する機器のキッティング作業の委託</li> </ul> </li> <li>・以上より、引き続き、組織委員会が一括して執行することが効率的・効果的である。 (2020 年 8 月 6 日 契約変更に伴う追記)</li> <li>・既存契約の機器リース期間を 2021 年 9 月まで延伸する。 (2021 年 1 月 20 日 契約変更に伴う追記)</li> <li>・大会延期に伴い、一時撤去したキッティング環境の再構築を NEC に委託する。</li> </ul>	
--	---	--

<p>経費の内容等が必要性（必要な内容、機能かなど）、効率性（適正な規模、単価かなど）、納得性（類似のものと比較して相応かなど）等の観点から妥当なものであること</p>	<p>必要性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催都市契約大会運営要件においては、大会のインターネットサービス等の供給を確保することが示されている。</li> <li>・大会用データネットワークは、大会時にデータセンタ、組織委員会の各拠点、競技会場、大会関係施設等の間を接続する、大会運営の基盤となるネットワークであり、安定的にステークホルダーに提供しなければならない。</li> <li>・本案件は、大会運営に必要な各拠点、競技会場、大会関係施設等において、大会用データネットワークに接続するための機器について、リース契約を締結するものである。</li> <li>・会場の整備スケジュールを考慮しながら、生産及びキitting作業の平準化と安定的な調達を実現するため、今般、本数量を発注する。 (2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</li> <li>・2020年10月以降も最低限のコストで機器リースを継続するためには、現時点で手続きが必要であることを確認した。 (2021年1月20日 契約変更に伴う追記)</li> <li>・大会延期に伴い、キitting作業を一時停止し、キitting環境についても撤去する必要があったため、既存環境の撤去、契約期間の延長及びキitting作業時期のスライドについては、追加費用なしですでに実施している。</li> <li>・今般、キitting作業を再開するにあたり、再度、キitting環境の構築が必要である。</li> <li>・作業再開時期を考慮し、現時点で手続きが必要であることを確認した。</li> </ul>	<p>開催都市契約大会運営要件 TEC03, 04</p>
--	------------	--	-----------------------------------

	<p>効率性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織委員会では、コスト管理と 3R の観点から購入契約とリース契約を比較検討し、NEC 及びリース会社と協議の上、リース契約を選択し、リユースの実現、調達価格の削減を図っていることを確認した。</li> <li>(2020 年 8 月 6 日 契約変更に伴う追記)</li> <li>・購入とリースのコストを比較した上で、リース契約の継続を選択していることを確認した。</li> <li>・価格交渉を実施し、コスト削減を図っていることを確認した。</li> <li>(2021 年 1 月 20 日 契約変更に伴う追記)</li> <li>・既存契約に含まれる役務等の単価・工数については、前回までの契約時に妥当性を確認しており、今回の追加発注分についても、その単価・工数をもとに積算されていることを確認した。</li> <li>・その他、運搬費等についても市場価格と比較し、妥当であることを確認した。</li> </ul>	
	<p>納得性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本案件は、2019 年 2 月 13 日の作業部会において、すでに確認した NESA に定められた単価で発注されていることを確認した。</li> <li>・NESA に定められた最低発注台数を超えるが、会場等の設計が進捗し、数量が確定したことによるものであり、必要数量が積算されていることを確認した。</li> <li>・費用分担については、実際の各会場等への機器配備計画を精緻化し、都が負担すべき金額を確定するものとする。</li> <li>(2020 年 8 月 6 日 契約変更に伴う追記)</li> <li>・リース機器に関する保守契約や、今後予定されている追加の機器発注についても、大会運営の方向性等を考慮し、適宜見直し等を実施することで、さらなるコスト最適化を継続していただきたい。</li> <li>(2021 年 1 月 20 日 契約変更に伴う追記)</li> <li>・これまで確認してきた契約内容等に基づき価格、工数等が積算されており、その上で、さらに機器の削減等を実施してきたことを確認した。</li> <li>・今後、大会運営の方向性等を考慮し、適宜、見直し等を実施し、さらなるコスト最適化を継続していただきたい。</li> </ul>	

<p>その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大会成功に向けて、大会開催都市としての責任を持つ東京都が大枠の合意に基づき確認した結果、本案件の経費を公費で負担することは適切と考えられる。 (2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</li> <li>・延期に伴う追加経費については、既存経費も含めて可能な限りの効率化、精査を図ること。</li> <li>・また、延期に伴う追加経費については、現時点においては、その取扱いが未定であるため、当面組織委予算の執行とする。 (2021年1月20日 契約変更に伴う追記)</li> <li>・現時点では、大会経費の都の枠内であることを確認できないため組織委員会負担とする。</li> <li>・引き続き、経費が最小限のものとなるよう抑制・削減に取り組むこと。</li> <li>・都は大会経費の都の分担額の枠内であることを令和2年度末に、改めて確認した上で負担することとする。</li> </ul>	
---------------------------------------	---	--

\*公費負担の対象となるパラリンピック経費に該当するか否かについては、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。